上郡町第２期
まち・ひと・しごと創生総合戦略

概 要 版

1　趣旨

上郡町では、平成 27 年度に「上郡町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「第１期戦略」という。）を策定し、人口動態や産業構造等の地域特性に応じた地域創生の取組を進めてきたところです。

しかし、少子高齢化、都市部への人口流出が続くなど、第１期戦略の目標を大きく下回る状況が続いています。このような状況の中、令和２年に拡大した新型コロナウイルス感染症により、人口密度が低い地域への人の流れなど、新たな兆候が見られ、このような地方分散・地方移住の可能性も踏まえ、更なる地域活力を広げていく必要があります。

そのため、今後も地域の活力を維持し、自分らしく暮らせる社会の実現に向けて取り組む「上郡町第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「第２期戦略」という。）を策定しました。

地球規模の気候変動、急速なデジタル化の進展、新型コロナウイルス感染症が、私たちの生活環境を一変させたように、今後も更なる社会変革が求められる可能性があります。国・県の政策動向も踏まえながら、第２期戦略では、柔軟な施策展開を図っていきます。

2　位置づけ

第２期戦略は、まち・ひと・しごと創生法第 10 条に定める「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」として策定するもので、上郡町全体のまちの将来像やその実現に向けた取組を示す計画であり、地域づくりの最上位の計画である上郡町第５次総合計画の基本的な指針に基づき、組織横断的に課題解決型アプローチの観点から、よりアクティブに地域の活性化等を図っていくものです。

3　実施期間

第２期戦略の実施期間は、令和３年４月１日から令和８年３月３１日までの５年間とします。

■実施期間

初年度　令和３年度
（令和３年４月１日）

→

最終年度　令和７年度
（令和８年３月 31 日）

4　人口動態

【動向】

○人口は、目標を大幅に下回る状況が続いています。

○進学や就労、結婚等を機に若年層を中心とした転出が多く、一方で転入が少ない状況が続いています。

○若年女性の転出が多く、晩婚化が進んでいるため、出生数や合計特殊出生率が大幅に減少しています。

【今後の見込み】

○今後も生産年齢人口の減少が進むとともに、高齢化率が引き続き上昇し、更なる人口減少が見込まれています。

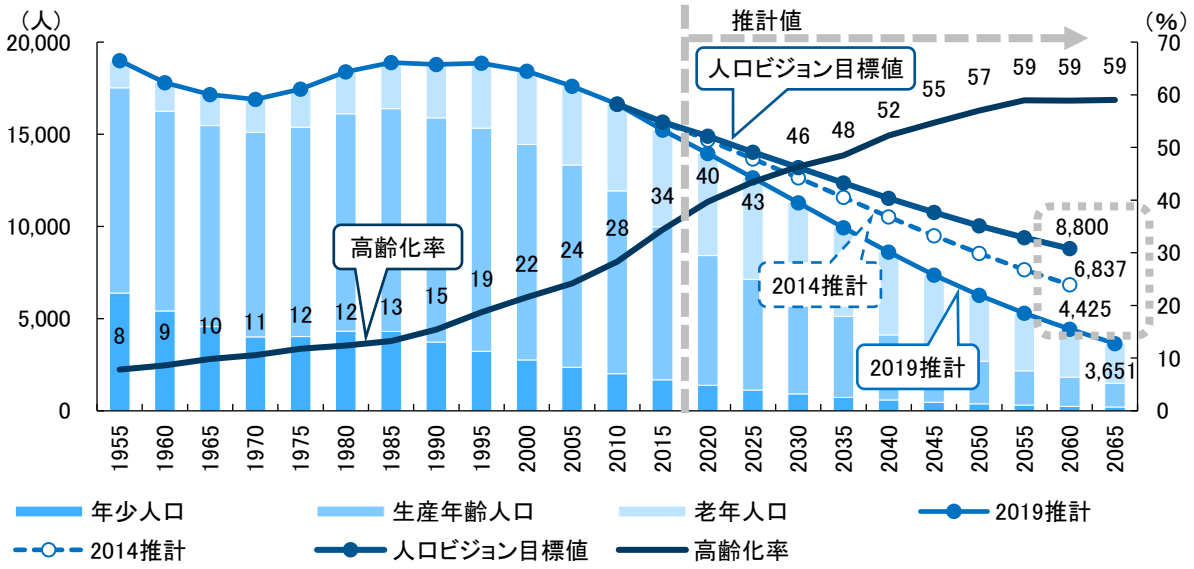
○地域経済の担い手が不足するなど、地域の活力が失われかねない状況にあります。

【明るい兆し】

○空き家バンクやお試し暮らし住宅の利用が多く、上郡町での暮らしに魅力を感じている方も多くいます。

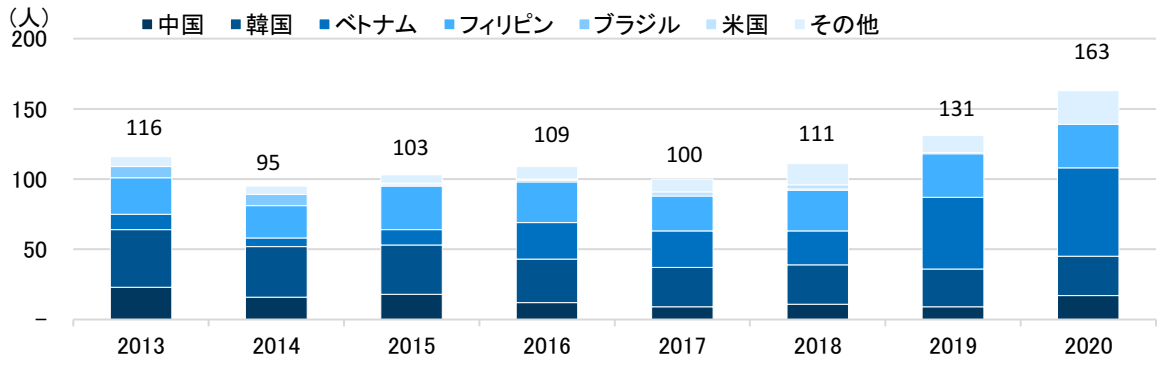
○ビザ要件の緩和等により、ベトナムをはじめとした外国人の転入は増加傾向にあります。

■人口の推移



（出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所）

■国籍別在留外国人の推移



（出典：総務省在留外国人統計）

5　目指す方向

人口減少や高齢化が進む中においても、上郡町が地域の活力を持続して発展していくためには、一人ひとりがいきいきとした自分らしさを実現し、個々の活力を重ねあい、地域全体として活性化していくことが重要です。

自分らしさを求めた暮らしが実現できる上郡町だからこそ、住む場所、行く場所として選ばれる地域になり、その結果として出生率が増加するなど人口減少の抑制が図られることを目指します。

■目指す方向

一人ひとりが、なりたい自分になれる暮らしが実現できる

6　基本方針

基本方針1　地域資源の活用

地域のそれぞれの機関や自然、コミュニティなどの地域資源を最大限活かして多様な暮らしを実現させていくため、地域資源の活用を図ります。

①地域にある学校や豊かな自然等、様々な地域資源を活かす
②行政の役割を明確にし、町民の参画と協働により、自助、共助、公助の輪を回す
③既存の価値観にとらわれずに、「ない」ことを強みに変え、地域活力を創造していく

基本方針2　様々なチャレンジを応援する

子育てしやすい地域や子どもの好奇心を育てる教育環境の充実など、子どもが主役のまちづくりに組織横断的に取り組むとともに、若者や女性、新たな移住者など、誰もが活躍できるまちづくりに取り組み、将来を創り出す仕組みづくりを行います。

①上郡町で生活すること、働くことで、達成感や満足感を満たす等、将来に希望がもてる
②将来の可能性を広げる子どもや若者も含め、一人ひとりが主役になれる
③子育てのしやすさや教育環境の充実など、結婚時等のライフイベントで選ばれる場所になる
④地域活性化のために、ＩＣＴ等の最新技術を積極的に活用する
⑤女性、高齢者、障がい者も含め、誰もがやりたいこと（仕事や勉強等）に取り組める

基本方針3　多様性の尊重

国籍や性別、障がいの有無などを問わず、互いの個性を尊重しながら共生するため、多様性に対する認識を広め、相互理解を促進することで、様々な価値観が共存できるまちづくりを行います。

①上郡町の恵まれた環境を活かして移住者や関係人口を積極的に受け入れる
②町民一人ひとりが町のよさや魅力を活かし、地域のアイデンティティを確立する
③背景や文化が異なる外国人等も町民の一員として住みやすいまちをつくる
④上郡町で暮らすことによって共有できる多様なストーリーを大切にする

7　対策の視点

Ⅰ　地域の元気づくり

◆農林水産業から商業施設まで幅広い産業において経済活動の裾野を広げるとともに、地域産業の振興、起業・創業を促進します。

◆観光人口・関係人口の増加や集落コミュニティ活動の強化など、新たな活力を見出すことのできる内外との様々な交流の活発化を図ります。

◆芸術文化の振興や教育力の強化、豊かな自然環境の保全など、多彩な文化が根付き、にぎわいあふれるまちづくりを行います。

人口が減少する中でも、上郡町の将来に期待をもち、誰もがいきいきと暮らせるように取り組みます。

Ⅱ　社会増[1]を目指す

◆子育てしやすいまちづくりや女性の活躍を促進し、結婚等を機に居住地として選ばれる魅力を備えます。

◆リモートワーク等で都心とつながった田舎ライフや起業、創業等の多様な働き方の促進など、自分らしく働ける環境整備を図ります。

◆外国人材を積極的に受け入れ、共生社会をともにつくります。

上郡町を居住地として選びたくなる魅力を備えるなど、社会的要因に関する人口増加を促進するように取り組みます。

Ⅲ　自然増[2]を目指す

◆豊かな自然の景観や空間を活かした教育を充実させるとともに、子どもの居場所づくりを行います。

◆子育て負担の軽減や、男女共同参画の推進、学力や心を育成する教育力の強化など、安心して父親、母親ともに働ける保育、教育環境の充実を図ります。

減少する出生数に歯止めをかけるためにも、子どもを産み、育てる環境を充実させるとともに、女性が活躍できる社会の実現に取り組みます。

Ⅳ　健康長寿社会の実現

◆認知症対策の充実や疾病の早期発見、早期治療の推進、生活習慣病の改善促進など、健康づくりを促進します。

◆地域コミュニティ活動への参加や、生涯学習、生涯スポーツの促進など、高齢者の居場所づくりを行います。

高齢者が健康で社会活動を継続することにより、一生涯元気に活躍できる社会の実現に取り組みます。

1社会増とは、人口の流入数が流出数を上回る状態
2自然増とは、出生数が死亡数を上回る状態

8 プロジェクト

世代間での意識の違いや、各々の価値観や考え方が多様化してきているため、４つの対策の視点から洗い出される問題点を、必要かつ重要な課題としてフレーミングすることで、より明確に取り組むべき道筋が見えてきます。そのため、それぞれの対策の視点から導き出される各課題別にパッケージ化したプロジェクトとして取り組みます。

1．地域経済活力創造プロジェクト

様々な地域資源を活用し、コロナ禍での地域経済力の基盤を強化するとともに、ポストコロナにおける上郡町の経済力の発展を図ります。

小中高生などの学生時代から経済に慣れ親しむとともに、起業や農業、テレワークなど多様な仕事の在り方について学ぶ機会を提供します。あわせて、企業や商業施設等の立地促進を図るために、雇用奨励金の交付やマッチングイベントへの参加、創業支援などに取り組みます。

【主な施策】

①起業家の育成

ア．小学生～高校生向け起業家教育プログラムの提供
イ．創業支援

②企業等の誘致

ウ．企業誘致の推進
エ．立地企業への奨励事業
オ．空き工場等バンク

③定住の促進

カ．定住促進事業

【重点指標】

＜令和７年度の目標値＞

- 新規事業所数　　６件/年
- 製造業従業者数　　1,200 人
- 空き家バンク利用件数年間　　30 件
- 空き工場等バンク利用件数（延べ）　　20 件

▲上郡町のぶどうを使用したワイン

▲県立上郡高等学校との協定締結

2．デジタル・トランスフォーメーション促進プロジェクト

ＩＣＴの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるデジタル・トランスフォーメーションを促進します。

自治体がデジタル技術を積極的に活用することにより、都心部と同じ利便性、快適性を実現するとともに、一人ひとりのニーズにあったサービスを選ぶことができ、多様な暮らし方を実現することができます。そのため、社会情勢の変化や国や県の動向を的確に捉え、更なる取組に挑戦します。

【主な施策】

①住民の利便性向上

ア．行政手続きのオンライン化
イ．キャッシュレス決済の導入
ウ．スマート窓口の導入
エ．ホームページの更新
オ．地域のデジタル化

②業務の効率化

カ．自治体情報システム等の標準化
キ．ＡＩを活用した文書支援
ク．多様な働き方への対応

【重点指標】

＜令和７年度の目標値＞

- マイナンバーカード取得率　50%
- 行政オンライン手続き利用件数（電子申請システム利用件数）　30 件/年
- ホームページ・アクセス件数　560,000 件/年

3．清流の恵み活用プロジェクト

上郡町の中心を流れる清流千種川。この川の恵みによって育まれた農産物を活用して、国際基準の地域の特産品の開発などを行います。

【主な施策】

①地域のブランド化

ア．農産物ブランド化
イ．町内機関と連携した農産物等の販売
ウ．農地等の多面的機能の活用

②就農支援

エ．就農ＰＲ及び後継者支援

③地域連携

オ．農福連携事業
カ．森林整備事業
キ．農業振興事業

【重点指標】

＜令和７年度の目標値＞

- 農産品販売額　80 億円
- ひょうご安心ブランド認証農産物数　９件
- 就農者数（認定農業者、新規就農者、集落営農組織、農業法人等）　46
- 農地集積率　60%

4．いきいき子育てプロジェクト

多くの自然を活かした子育てができる環境を活用して、子どもが産まれる前から、成人するまで幅広い子育て支援と充実した教育環境の提供を行い、子育てがしやすいまちづくりを目指します。

【主な施策】

①切れ目ない子育て支援

ア．町立認定こども園の開園・運営
イ．児童預かり支援
ウ．医療支援
エ．育児パッケージの配布
オ．子育て支援情報のデジタル化

②教育環境の充実

カ．多彩な課外活動等の充実
キ．栄養豊かな給食

【重点指標】

＜令和７年度の目標値＞

- 出生数　40 人
- 合計特殊出生率　1.4

▲子育て運動会

5．多彩な魅力創出プロジェクト

多様性を受け入れ、魅力ある地域を創造するとともに、様々な文化が共存し、誰もが住みやすいまちづくりを行い、定住の促進を図ります。

【主な施策】

①地域の魅力づくり

ア．地域おこし協力隊の活用
イ．自転車を活用したまちづくり
ウ．ｅスポーツの活用
エ．女性の活躍推進
オ．国際交流の充実

②公共交通の充実

カ．コミュニティバス・乗合タクシーの再編

③定住支援

キ．結婚支援
ク．移住体験住宅の提供
ケ．各種住宅購入支援

【重点指標】

＜令和７年度の目標値＞

- 転入超過者数　△20 人/年
- 各種住宅取得支援制度利用件数　50 件/年
- バス等公共交通利用者数　50,048 人/年

▲ＪＲ上郡駅利用促進啓発看板

6．交流促進プロジェクト

古くからの交通の要衝地であることを活かし、関係人口の増加に努めるとともに、広域的な連携により、地域全体の交流促進を図ります。

【主な施策】

①観光資源の強化

ア．山陽道野磨駅家跡（さんようどうやまのうまやあと）ネットワーク
イ．観光客誘致の強化
ウ．自転車を活用したまちづくり（再掲）
エ．e スポーツの活用（再掲）

②広域連携の促進

オ．広域連携の促進
カ．国際交流の充実（再掲）

【重点指標】

＜令和７年度の目標値＞

- 観光入込客数　400,000 人/年
- 在留外国人数　200 人

▲異文化交流イベント

7．人生 100 年プロジェクト

高齢になっても、いきいきと、生きがいをもって暮らせる期間が長くなるようにするとともに、支援や介護が必要になっても安心して暮らしていけるように、地域においてともに支えあえるまちづくりを行います。

【主な施策】

①フレイル予防

ア．いきいき百歳体操
イ．通所型短期集中予防サービス

②地域人材の育成

ウ．認知症サポーターの養成
エ．介護人材の確保

【重点指標】

＜令和７年度の目標値＞

- 要介護・要支援認定率　18.2%（※）
- 認知症サポーター養成数（延べ）　3,000 人

※要介護・要支援認定率は、後期高齢者が増加する中、0.8 ポイントの増加に抑える。

▲いきいき百歳体操